

# 2002年度後半『牧羊者』カリキュラム

期 題	単 元	月 日	テ ー マ	聖 書	中心聖句	みことば（太字は重要部分、下線は未就学児童用）
第Ⅱ期 神の前に立つ備え	見えないものに目をおく	10/ 6	10人のおとめ	マタイ 25・1～13	同左25・13	目をさましていなさい。その日その時が、あなたがたにはわからないからである。
		13	タラントを用いる	マタイ 25・14～30	同左25・21、23	<u>良い忠実な僕よ、よくやった。</u> あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。
		20	愛は寛容である	I コリ 13・4	同左13・4	<u>愛は寛容であり、愛は情(け)深い。</u>
		27	愛は情け深い	I コリ 13・4	同左13・4	愛は寛容であり、愛は情(け)深い。
		11/ 3	愛はねたまず誇らない	I コリ 13・4	同左13・4	(愛は)ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない。
		10	愛は不作法をしない	I コリ 13・5	同左13・5	(愛は)不作法をしない。
		17	愛は自分の利益を求めない	I コリ 13・5～6	同左13・5～6	(愛は)自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。不義を喜ばないで真理を喜ぶ。
		24	愛はすべてをおおう	I コリ 13・7	同左13・7	(愛は)すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。
	降誕節	12/ 1	ひとり静まって祈る	マタイ 6・1～13	同左6・6	自分のへやにはいり、戸を閉じて、隠れた所においてになるあなたの父に祈りなさい。
		8	マリヤへの告知	ルカ 1・26～38	同左1・38	<u>わたしは主のはしためです。お言葉とおりこの身に成りますように。</u>
		15	マリヤの賛歌	ルカ 1・39～56	同左1・46～47	わたしの魂は主をあがめ、わたしの霊は救(い)主なる神をたたえます。
		22	羊飼いの訪問	ルカ 2・1～20	同左2・16	そして急いで行って、マリヤとヨセフ、また飼葉おけに寝かしてある幼な子を捜しあてた。
第Ⅲ期 主に出会った人々 主イエスとの関係	主に出会った人々	29	荒野の試み	マタイ 4・1～11	同左4・10	サタンよ、退け。『主なるあなたの神を拝し、ただ神にのみ仕えよ』と書いてある。
		1/ 5	ヨハネの証言	ヨハネ 1・19～34	同左1・26	わたしは水でバプテスマを授けるが、あなたがたの知らないかたが、あなたがたの中に立っておられる。
		12	最初の弟子たち	ヨハネ 1・35～51	同左1・39	きてごらんなさい。そうしたらわかるだろう。
		19	ニコデモ	ヨハネ 3・1～17	同左3・3	<u>だれでも新しく生(ま)れなければ、神の国を見ることはできない。</u>
		26	サマリヤの女	ヨハネ 4・1～26	同左4・14	わたしが与える水を飲む者は、いつまでも渇くことがない。
		2/ 2	ベテスダの池の病人	ヨハネ 5・1～9	同左5・8	起きて、あなたの床を取りあげ、そして歩きなさい。
		9	カナンの女	マタイ 15・21～28	同左15・27	でも、子犬もその主人の食卓から落ちるパンくずは、いただきます。
		16	バルテマイ	マルコ 10・46～52	同左10・52	<u>行け、あなたの信仰があなたを救った。</u>
		23	足を洗われた弟子	ヨハネ 13・1～15	同左13・14	しかし、主であり、また教師であるわたしが、あなたがたの足を洗ったからには、あなたがたもまた、互(い)に足を洗い合うべきである。
	わたしがきたのは	3/ 2	上からきたかた	ヨハネ 8・21～30	同左8・23	あなたがたは下から出た者だが、わたしは上からきた者である。
		9	罪人を招くため	ルカ 5・27～32	同左5・32	<u>わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである。</u>
		16	律法を成就するため	マタイ 5・17～20	同左5・17	わたしが律法や預言者を廃(す)するためにきた、と思っはならない。廃(す)するためではなく、成就するためにきたのである。
		23	つるぎを投げ込むため	マタイ 10・34～39	同左10・34	地上に平和をもたらすために、わたしがきたと思うな。平和ではなく、つるぎを投げ込むためにきたのである。
		30	人々に仕えるため	マタイ 20・20～28	同左20・28	それは、人の子がきたのも、仕えられるためではなく、仕えるためであり、また多くの人のあがないとして、自分の命を与えるためであるのと、ちょうど同じである。